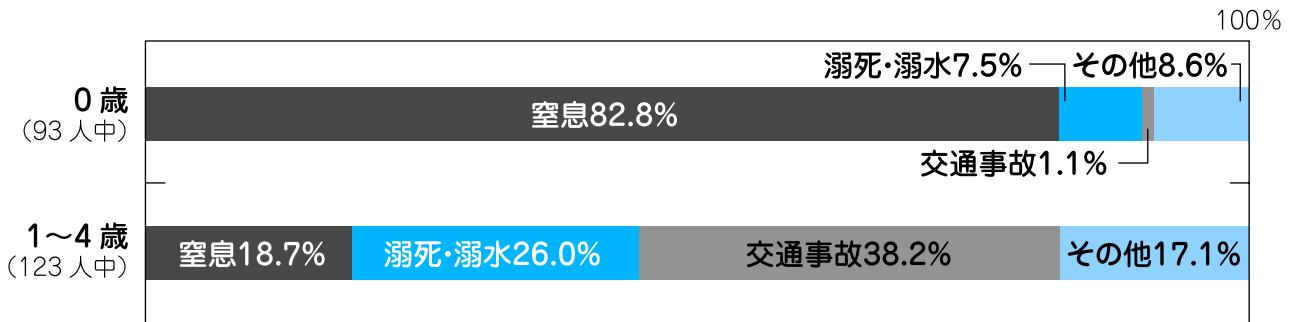


子どもの事故を予防しよう!

自分で危険を判断できない子どもは、さまざまな事故やけがと隣り合わせです。成長の時期によって、周りの大人が注意しなければいけない事故は異なります。今回は、子どもに多い「不慮の事故」について紹介します。

不慮の事故と呼ばれるものは、窒息、溺死および溺水、交通事故、転倒および転落、煙火および火災、中毒などがあります。その中でも、0歳児では特に「窒息」が多いので注意が必要です。

● 不慮の事故による死亡の状況(年齢別)



【参考資料:2014/2015「国民衛生の動向」より】

- 窒息の原因
 - ・吐いた物
 - ・枕や軟らかい布団
 - ・喉に引っかかる飲み込めない大きさの物 など
- 窒息の予防
 - ・頭が沈んでしまう軟らかい枕や布団は避ける。
 - ・手の届く範囲に子どもの口に入る物を置かない。



※応急手当は母子健康手帳を参照してください。また、飲み込んだものによっては、窒息だけでなく中毒の危険性があります。

中毒110番(財)日本中毒情報センター

もし子どもが誤飲してしまったら、毒物(薬品、有毒植物など)の種類によって応急手当の方法が違います。下記にて、無料で情報提供しています。(通話料金はかかります。)

まず気持ちを落ち着けて行動しましょう。

- 大阪中毒110番 ⇨ ☎ 072-727-2499 (365日24時間対応)
- つくば中毒110番 ⇨ ☎ 029-852-9999 (365日9時~21時対応)
- たばこ専用回線 ⇨ ☎ 072-726-9922 (365日24時間テープ対応)

※中毒110番では、食中毒(細菌性)、慢性の中毒、小石・ビー玉などの異物誤飲については受け付けていませんので、最寄りの医療機関へご相談ください。

下記のような事故の報告が増えています。気をつけましょう。

ボタン電池の誤飲に注意!

子どものボタン電池の誤飲に関する事故報告が増えています。ボタン電池は、誤飲時に食道にとどまり、放電の影響で短時間でも潰瘍ができて穴が開いてしまうなどの重篤な症状を生じる場合があり、死に至るなど大変危険です。

浴槽での首掛け式浮き輪の事故に注意!

首掛け式の乳幼児用浮き輪を浴槽で使用し、溺水したなどの報告があります。鼻と口が水に浸かった状態が5分以上続けば、極めて重症度が高い障害が残ることもあります。乳幼児を入浴させる時は、保護者は一瞬でも目を離さないように気をつけましょう。

<消費者庁ホームページより>